

特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第 17 号(発行日:平成24年 12 月 1 日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目 13 番 5 号

e - mail:info@teganuma-trust.jp

ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



(11月24日そば祭り)

活動報告

そばの刈入れ ~ そば祭り

農事・農教室グループ

11月3日(土) : 朝は段々と冷え込むようになり、みんなに会えるのを楽しみに、何時もより少し気合を入れて手賀沼へ向かいました。

今年もそばが沢山実り、刈取りや束ねるときは、実がこぼれないように優しく扱うよう注意しながらの作業でした。9月の種まきから、ぐんぐん茎が伸び、可愛い白い花が咲き、もう収穫できるなんて、成長がとっても早く驚きです。茎は中空で軽い感じでしたが束ねると意外と重かったです。みんなでおしゃべりしながらの作業は楽しくて、広いそば畑でそばを刈る人、束ねる人、トラックで運ぶ人、ハザ架けする人など分担しての作業、ハザ一面にそばが干されて素敵な風景でした。そばを藁で束ねる方法を毎年教えて頂きますが、キュッと束ねることが出来ずまだまだ修行中です…。朝は曇っていましたが途中から青空が広がり暑くなってきました。午前中では終わらなかったのも、お昼におむすびを頂き残りのそばを刈り取りました。ちょっと疲れましたが、スズメ達もそばの実がおいしいのを知っているらしく、ハザに群れていました。そば祭りでも新蕎麦をいただくのが今からとても楽しみです。(七海 伊久美 記)

11月10日(土) : 穏やかな陽射しの中で、そばの脱穀を行いました。1年生かつ米の脱穀を欠席した私は、足踏脱穀機や唐箕を初めて目にし、その仕組みを考えた先人の知恵に感心させられました。脱穀作業は、脱穀機 ふるい 唐箕 異物除去という行程で、私はふるいを担当しました。先輩方に作業のコツを教えてもらい、また、おしゃべりを交えながら、楽しく作業が出来ました(体力勝負だった脱穀機担当の方々、すみません。でも、私も一生懸命手は動かしたのでお許しを!)。今年は収穫量が多く、先週に引き続き、午後まで作業が延長されました。作業終了後、遠藤先生より「今年は、今までにない豊作だ」とのお話がありました。推定 150kg との事で昨年の倍だとのお話でしたが、後日、221kg と判明、なんと昨年の3倍以上となりました。

11月24日(土) : 待望のそば祭り! 参加者は5グループ×2回に分かれ、そば打ちを体験し、打ちたてのそばを賞味しました。私のグループは、技術的にはおぼつかなかったものの笑いの絶えない作業となり、結果とても美味しい

そばをいただくことが出来ました。笑顔で作り、笑顔で食べると、美味しさが増しますね！ そば以外にも、竹炭でじっくり焼いた焼き芋や、野菜の味がしっかり味わえた豚汁、日暮さんから差入れのお赤飯、他にも飲み物の差入れなど、皆さんからのご好意を存分にいただきました。

そば粉を販売するとの事で、私はそば粉を使ったレシピを探すことを仰せつかりました。こんな素人の私が探して大丈夫だろうか…と思いながらも、自分たちの手で育てたそばを美味しくいただく研究をするのも、新鮮で楽しい時間となりました。今後は探すだけでなく、実際に料理の腕を磨いていきたいと思えます。このような恵まれた体験と貴重な経験が出来、感謝しています。
(北條 淳子 記)

活動報告

「エビちゃん ごめん」

農事・農教室グループ

茨城の友人が「日本の将来の為に」と言って、原種の山野草や黒米、赤米等の古代米を栽培している。「良いなア、エビちゃんは、自然栽培とかを謳い文句に、種を蒔きっぱなし、植えっぱなしで、葉を使って一生懸命良い形の野菜を作っている人達より、高く売るんだから」「ふざけるな！ 都会育ちのお前に何が解る！」(怒っていたっけ)。

我孫子でも有機農業を教えてくれる「農教室」と言うのをやってるんだ。月 2 回、半日程度出席して、美味しい野菜や米が作れるようになるんだ、面白そう…。

聞くとみるとは大違い！ 遠藤先生の座学では「 $6H_2O + 6CO_2 = C_6H_{12} + 6O_2$ に光合成により変化します。」(半世紀以上前の授業だア～、覚えてねえヨ～！ 確かに植物の生育に、窒素・リン酸・カリは聞いたけど…。)

畑に出れば肥やし作り、キツイは、臭いは、汚いは、泥だらけで母ちゃんに叱られるぞ～。でも、初めて自分で作った(?)トウモロコシを生で齧ったときの甘さ、香り、歯ごたえ、最高！！ 道端で「朝穫りトウモロコシ」と幟が立っていると、車を止めて買ってしまおうようになってしまった。

わが家のイモ女房、イモ娘は好物のサツマイモを喜んで食べている。最近のスーパーでは、「顔の見える野菜」を売りにしているが、農教室のこれほどハッキリと顔が見える野菜や米は無い。流した汗が報われる。農作業の楽しさ、美味しさを楽しませて頂いている。

日・水・風・土等の自然に感謝をして耕作する農業を大切にしないで…。「エビちゃん ごめん」 (飯野 坦 記)

活動報告

JBF交通ボランティアに参加して

会員有志

11月3日・4日の2日間にわたって手賀沼親水広場や鳥の博物館を中心に「第12回 ジャパンバードフェスティバル」が開催され、トラストからは4名の方が我孫子駅南口と水の館でバスの乗降案内を行う交通ボランティアに参加しました。私は、4日(日)午前中の参加でした。AM8:45に南口の本部テントに集合、応援メンバーは私を含めて5名(女性1名、中学生男子1名、おじさん3名)の編成でした。市職員の方から、ボランティア内容の説明を受けてボラ開始です。バス4台が、駅～水の館～アピスタを15分間隔で回ります。お手伝いをする内容は、主にチケットの販売、パンフのお渡し、バス駐車スペースの確保、乗降のサポートなどです。良く晴れたこともあり、朝から非常に多くの方がお越しになり、バスも午前中はほぼ満杯でした。1台を見送ると次のバスまでの時間を持て余すかと思いましたが、そんなこともなく、あっという間に午前の部が終わり、午後のメンバーとパトタッチ。4時間立ちっ放しは、いささかつらいものがありましたが、機会がありましたら、来年も是非お手伝いをしたいと思いつきました。
(原田 泰夫 記)

鳥をテーマにした日本最大級イベントのジャパンバードフェスティバル(JBF)が3日、4日と開催され大勢の愛鳥家が我孫子を訪れた。当トラストからも4名が交通ボランティアとして応援に駆け付けた。主な活動内容は三角コーンを置いてシャトルバスの停車スペースを確保する、パンフレットや乗車券の有無を確認し発券手続きをする、時間のある方には用意したイス席に案内する、会場以外で我孫子の見所などを尋ねられたら親切に対応するなど少々緊張して持場に就いたが余り難しい質問に合うこともなく無事任務を終了し、みんなホッとした様子だった。また、昨年に引き続き「おもてなしの心で接しましょう」をモットーに出発時にはみんなで「行ってらっしゃいませ」お帰り時には「お帰りなさいませ。」「有難うございました」の真心のこもった挨拶にお客様から「有難うございました」「楽しかった」などのお声をいただき、少しはお役に立てたのかなと思いつながら来年も必ず応募しますからとみんなで約束を交わし帰途に着いた。

(吉田 明 記)

【事務局から】

ジャパンバードフェスティバル(JBF)が11月3日(土)～4日(日)の両日、山階鳥類研究所、手賀沼親水広場を中心に開催されました。全国からの大勢のお客様をお迎えするため、あびこ市民活動ネットワーク(ACNW)では、会員団体に交通ボランティアの募集を行いました。当法人から、原田さん、吉田(明)さん、白鳥さん、遠田さんの4名の方が参加してくださいました。ご協力ありがとうございました。

我孫子に移り住んで 30 年になる。サラリーマンを卒業して 10 年、アツという間に過ぎてしまった。日立で生まれ 18 年、東京で学生時代から通算で 20 年、札幌で 5 年過ごした。我孫子の地を選んだのは、本社勤務でも工場勤務でも便利な地、手賀沼があり、緑豊かで落ち着いた住環境が決め手になった。とは云うものの現役の際は、朝、家を出て帰宅は夜の 9 時、10 時、時には午前様も、土日はゴルフかゴロ寝、たまに家内の買い物に付き合う程度で我孫子のことは殆ど何も知らなかった。

10 年前にリタイア、現役の際はやれ「高度成長の担い手」だの「企業戦士」等と煽られ、その裏で「ワーカーホリック」等と馬鹿にされ、更には、「産業廃棄物」だ「濡れ落葉」だのと蔑まれ、拳句の果てに「生ゴミと一緒に出て行く粗大ごみ」ときた。これでは堪らんと、予ねて温めていた「写真」をやるうと NHK カルチャーセンター(青山)に 1 年通った。毎日が日曜日の身、カメラと三脚を車に積んで、ドライブがてらに茨城、千葉の田園風景を撮りに出かけた。ある日、北新田に「むそう塾」という農業塾を見つけた。家内が数年前から家庭菜園のまね事を始めていた。全く興味がなかったが、家内に促され、「むそう塾」の説明会に参加した。塾長は専業農家で有機無農薬栽培を長年実践している魅力のある方、家内に勧められるまま主体性なく入塾した。塾では土づくりから農機具の使い方、野菜作

りの「いろは」を 2 年間学んだ。「農」にのめりこむ契機は 6 月だった。朝、枝豆を収穫し昼に茹でて食べた。「なんと美味しいんだらう！」今まで居酒屋でつまんでいた枝豆とは全く別物であった。戦中、戦後の食糧難時代に幼少期を生きた世代は殊のほか食に対する執着心が強い。(?)

家から「ハケの道」を徒歩で 10 分程のところにて市民農園を借りた。美味しい野菜を作ろう。子どもや孫達に本物の味を教えようと一念発起、今年で 9 年目になる。市民農園のお隣さんにトラスト会員の A さんがおられ、入会を勧められた。何やら大勢で楽しげにやっている集団は知っていた。誘われるままに入会した。

正月、一年の作付計画を練る。早春、蠟梅、紅梅、沈丁花が咲き、香る頃土づくり。春、ジャガイモの植付けから愈々農作業が忙しくなる。「ハケの道」ではいろいろな発見がある。初夏には卯の花が咲き、ほんの一時期ホトギスが啼き、猛暑の夏にはノウゼンカズラ、秋には金木犀が香り、彼岸花が咲き、そして、鮮やかな紅葉。季節の移ろいを感じながらの畑仕事は実に楽しい。鳥といえば、スズメ、ハト、カラスしか知らなかったが、畑に居るといろんな鳥を見かける。作物を食べにくるにつつき鳥たちも「自然との共生」とグッと我慢する。畑仕事をしていると無心になれる。草を刈ったり、土寄せしたり、生育状況を眺めたり、自然の中での至福のときだ。

【農地法解説】

「農業振興地域」と「農振整備計画」(第 4 回)

理事 坂巻 宗男

「農業振興地域(農振地域)」は、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、都道府県知事が指定をします。文字通り、農業の振興に寄与する地域を指定するものです。

我孫子市では、前回記述した「市街化調整区域(2,704 ㌔)」と「農振地域(2,648 ㌔)」がほぼ一体となります。つまり、市街化調整区域はほとんど農振地域であることを意味しています。(市街化調整区域とは都市計画法で位置づけられた市街化を抑制する区域です)。

そして、この農振地域に指定された地域での整備計画をそれぞれの市町村が策定することとなります。これが「農業振興地域整備計画(農振計画)」です。

この「農振計画」には様々なことが盛り込まれます。少し専門的になりますが、以下法文を転記します。

1. 農用地等として利用すべき土地の区域(以下「農用地区域」という)及びその区域内にある土地の農業上の用途区分
2. 農業生産の基盤の整備及び開発に関する事項
- 2.(2) 農用地等の保全に関する事項
3. 農業経営の規模の拡大及び農用地等又は農用地等とすることが適当な土地の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進のためのこれらの土地に関する権利の取得の円滑化その他農業上の利用の調整(農業者が自主的な努力により相互に協力して行う調整を含む)に関する事項
4. 農業の近代化のための施設の整備に関する事項
- 4.(2) 農業を担うべき者の育成及び確保のための施設の整備に関する事項
5. 農業従事者の安定的な就業の促進に関する事項で、農業経営の規模の拡大及び農用地等又は農用地等とすることが適当な土地の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進と相まって推進するもの
6. 農業構造の改善を図ることを目的とする主として農業従事者の良好な生活環境を確保するための施設の整備に関する事項

以上ですが、特に 1 の「農用地区域」を定めることについて、我孫子市と千葉県との間で紛争が起きました。この紛争を理解するためには、「農用地区域」とはどのような区域かを知る必要がありますので、今回は「農振計画」に位置づけられる「農用地区域」について詳しく見ていきます。

12月～1月度活動計画

活動日	時間	区分	活動内容	担当部門
12/1	土 10:00	イベント	我孫子市民フェスタ(～2日)、於:アビスタ	交流事業 G
12/2	日 8:30	合同	大掃除(事務局・農教室スタッフ)、手賀沼統一クリーンデイ	環境 G、事務局
12/8	土 8:30	農教室	野菜収穫、修了式、芋煮会(各自お椀、箸持参のこと) なでしこ会 Meeting(芋煮会終了後)	農事・農教室 G 々
12/14	金 9:00	合同	餅つき大会準備(ご都合のつく方お手伝い下さい)	交流事業 G
12/15	土 9:00	合同	餅つき大会(スタッフは8時集合)、各自お椀と箸持参のこと	交流事業 G
12/16	日 9:00	合同	餅つき大会後片付け(ご都合のつく方お手伝い下さい)	交流事業 G
	9:00	会議	農事・農教室 G スタッフ会議(於:けやきプラザ 8階第2会議室)	農事・農教室 G
12/22	土 16:00	会議	15PJT Meeting	15PJT
	18:00	会議	第9回定例理事会	事務局
12/26	水 9:00	竹教室	ランチョンマット制作	環境保全 G
1/13	日 9:00	会議	農事・農教室 G スタッフ会議(於:けやきプラザ 8階第2会議室)	農事・農教室 G
1/20	日 8:30	定例	根戸城址周辺清掃、下草刈、低木処理	環境保全 G
1/26	土 17:30	サロン	公開講座「有機無農薬栽培の基礎」(けやき7階研修室)	農事・交流・事務
1/27	日 16:00	会議	15PJT Meeting	15PJT
	18:00	会議	第10回定例理事会	事務局

【お知らせ】

公開講座「有機無農薬栽培の基礎」開催
第1回「基本編」
日時:平成25年1月26日(土)18時15分～
会場:けやきプラザ7階研修室
第2回「雑草・病害虫対策編」
日時:平成25年2月2日(土)18時15分～
会場:けやきプラザ7階研修室
講師:農学博士 遠藤織太郎(当法人理事長)
主催:(N)手賀沼トラスト
後援:我孫子市
定員:50名(申込先着順)
資料代:600円(全2回、会員限定)
申込:事務局(國方)TEL:7184-3385
1年次生必修、2年次生以上の方で受講してない方、是非受講してください。
平成25年度「農教室受講生」募集
内容:家庭菜園を始めたい方を対象に、自然と共生する、有機無農薬による各種野菜や水稲、そばの栽培技術を実習と座学により学びます。
講師:農学博士 遠藤織太郎(当法人理事長)
後援:我孫子市
募集人員:20名程度(申込先着順)
受講料:2,000円/年、テキスト代:1,000円
説明会:平成25年3月2日(土)18時30分～
会場:けやきプラザ7階研修室
申込・お問い合わせ:事務局(國方)
お友達、お知合いの方にお声かけ、お誘い下さい。

ありがとうございました！

藤川洋様から唐箕1台いただきました。
落合良雄様から足踏脱穀機1台、防鳥用ネット、支柱をいただきました。
匿名希望様から寄付金50,000円をいただきました。
匿名希望様から書籍3冊(「無農薬有機農業」「わら一本の革命」「我孫子人物誌」)、郵便切手8,960円相当額をいただきました。

編集後記

今年のそばは豊作でした。新そば粉を打って食べる「そば祭り」も盛会のうちに終わり、8日には農教室の修了式、15日には餅つき大会を残すのみとなりました。
今年一年を振り返って如何でしたでしょうか。
今月は衆議院総選挙もあり、慌しい師走になりそうです。内外に難問山積のこの国の将来に希望を持てる政治を期待したいものです。
創立15周年記念事業プロジェクトが本格的に動き始めました。来年2月16日(土)にはナチュラルリストのケビン・ショート氏をお招きして、基調講演とパネルディスカッションを行います。また、7月5日(金)から10日(水)には手賀沼トラスト展を開催する予定です。詳しくは都度お知らせしてまいります。前号でもお願いしましたが、会員の皆様のご協力を頂いて是非成功させたいと思っています。寒さに向います。くれぐれも風邪等ひかぬようご自愛下さい。(國方記)